



堀 三津雄 社長 塚本 能交 会頭

塚本会頭が行く
会員さん、
こんにちは！

Vol.13
会員訪問レポート



昭和23年、創業者の堀信氏(現社長父)が河原町通六角にて開業。創業時から原材料にこだわる「身体に良いパンづくり」に取り組み、職人の手仕事を大切にされた製造手法を続けながら、専用機械を導入して効率性を高め、手軽に、おいしく、安心して食べられるパンを提供しています。平成元年にJR京都駅平成21年に京都市営地下鉄烏丸御池駅と四条駅の構内への出店を皮切りに、エキナカ・駅近店舗を基軸に現在は21店舗を展開しています。通勤・通学、移動中の忙しい中でも、多彩な商品から手軽に選ぶことができるのも同社店舗の魅力の一つ。看板商品「カルネ」は、6年前にテレビ番組で紹介されて以降、

パン消費量が国内トップクラスの京都において、世代を越えて多くのファンを持つ株式会社志津屋を訪問し、代表取締役社長の堀三津雄さんにお話を伺いました。(訪問日：2月13日)

多様な感性が『パンの街』の 新たな時代をつくる 株式会社志津屋

さらに人気が高まり、京都のお土産としての全国的な知名度も上昇し、今では毎日1万個以上も売れているそうです。

現場で活躍する 新しい感性

いつまでもお客様から愛され続けるために、同社では顧客視点の徹底を目的に、若手や女性を店長職などに積極的に登用してきまし



社名は創業者・堀信さんの妻「志津子」さんに由来している

た。「毎月の新商品などメニュー開発は現場の声や利用者目線を大切にしている。女性ならではの心遣いがお店を盛り上げてくれることもあります」と堀社長。コロナ禍で外出が減り売上が激減した際、ある店長が来店してくださったお客様に向けた感謝の手紙を商品に添える取り組みを始めたことが、地域の皆さんから応援いただくきっかけになったそうです。今後は、勤務時間が未明のため男性が多い製造部門においても、男女問わずさまざまな社員が活躍できるような環境整備を行うなど、あらゆる部署で多様な感性が輝く企業を目指した取り組みに期待が膨らみます。



看板商品「カルネ」



お客様から届いた激励の手紙を紹介する堀社長

75年の実績と、「品質第一・顧客第一・実行第一」の企業理念を礎に、時代の変化に合わせて進化する“おいしさ”を追求し続け、京都の食文化の多様性を高めることを期待しています。



株式会社志津屋
京都市右京区山ノ内五反田町35
☎075-811-6000